
愛ドル！

詩音たん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛ドル！

【コード】

N0587H

【作者名】

詩音たん

【あらすじ】

貧乏な少年、井浦健。彼は、お金にはめっぽう弱い。そして、お金のためなら、アイドルだって、女装だって、やっちゃいます！

放課後の井浦

お金のためなら何でもする。

それが、俺 井浦 健！

*

それは、ある日の放課後。

「いーうらっ！」

「んー？」

俺は気のない返事をする。

「カラオケ行こうぜー！」

見ると4人ぐらいがいた。

「ごめんっ！今日は、スーパーの特売日なんだ…！」

そう、今日は戦なんだ…！

「そんな〜！」

「俺達が、奢ってやるよ、なあ皆」

「おー！勿の論だぜ！」

「古っ！」

……しかし。

「でも、今日は牛が安いんだ！牛さんがっ！」

今日だけは、俺も譲るわけにはいかん！

「パフェとドリンクも付ける！」
誰かが叫んだ。

「…………乗った」

貧乏だから、俺は金に弱い。

夜も、遅くまでバイトが入っている。

家族は、両親がいなくて（自分探しの旅に出た）弟と妹がいる。

「よっしゃ！行くぞー！」

カラオケの井浦

*
俺たちは、カラオケに着いた。

「よし、……………歌え！井浦」
隣にいた田辺がぼちぼちと、勝手に選曲する。

ちやちやつちやらら

イントロが流れ始める。

「ほら、マイク！」
井浦に田辺がマイクを押し付ける。

「ちょ！え、てかこれ、大塚愛じゃね？！」
やべ…。どんだけえ…。

俺は、呆れながらも歌う。
そして、最後のキメ。

ビシッと、あさつての方向にウインクした。
しまった…！
我ながら萎える…。

『萌—————！』

「はい？」

全員が叫ぶ。

体格のいい佐藤が何故か、号泣した。

「お前には、歌の才能があるぜ！」

「ねえよっ！」

その後も、皆は俺にばかり歌わせた。

俺は、ボーカロイドか！？

「ドリンクの注文こちらで宜しいですか？」
ガチャツ。

勢いよくドアが、放たれたと同時に。

誰かが入ってきた。

「？ えつと、ドナタデシヨウカ？」

「何故、片言?!」

入ってきたやつが勢いよく、つつこんだ。

*

「今歌つてたのって、君？」

「そうですね…」

入ってきたのは、二人組の男の人だった。

「んじゃ、君たち…この子借りてくよー！」

「えっ?! ちよ、やん! 駄目だ、んなとこ触るな!」

俺の叫び虚しく、俺は怪しい二人組に連れ去られたのだった。

俺、人権あるんだよねえ！？

*

「おい……。どういうつもりだ」

俺は、威厳たつぷりに言う。

「ボーカルになってくれ！」

「君の声に、惚れちゃってえー」

「断る」

「月給40万」

「状況に応じて、増額」

「ボーカルって何すればいいんですか？お兄さん！」
「こんな、チャンス二度とない……！」

「ああ、歌うだけでいいよ」

「そーそー。後、女装してねえww」

「あ、はい。勿論……え?!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0587h/>

愛ドル！

2010年10月11日18時04分発行